

無線LANの落とし穴！

～無線LANのセキュリティ対策について～

無線LANは、ネットワークケーブルを敷く必要がなく、電波の届く範囲ならどこからでもインターネットが利用できるため、企業のみならず家庭でも導入するケースが増えてきています。

しかし、屋外に漏れた電波は悪用されやすく、**情報漏えいや不正利用等**の被害に遭う可能性が高くなります。

無線LANの利用にあたっては、有線LANよりもセキュリティ対策をしっかりと行って、外部からの不正な侵入を防ぎ、安全に利用しましょう。

無線LANの対策

- 無線LANが本当に必要か検討する。
無線LANのメリットとデメリットを比較し、本当に必要な場合に利用しましょう。
- **無線LANの暗号はWEP以外を利用する。**
WEP暗号は簡単に解読されることが分かっていますので、より強固な暗号（WPA、WPA2等）を利用しましょう。

※ WEP暗号とは

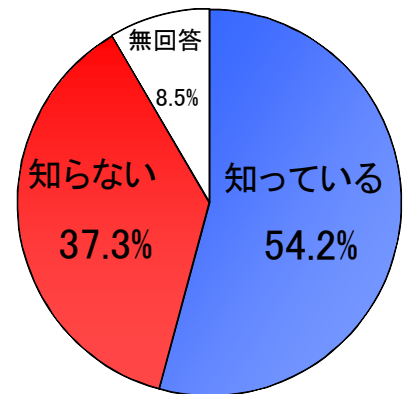
無線LAN初期の暗号規格で、多くの機器で利用することができるが、国内外の研究者から脆弱性を指摘されており、利用は控えた方がよい。

- 複数のセキュリティ対策を利用する。
 - ・ ESS-IDの適切な設定
 - ・ MACアドレスフィルタリング
 - ・ **アクセスポイントのパスワード管理**

等のセキュリティ対策を積極的に利用しましょう。

機器により利用できるセキュリティ対策が異なりますので、詳しくは販売店やメーカーにおたずね下さい。

WEP暗号の危険性の認知状況【県内】



無線LANを利用している
県内の企業・自治体(n=59)

インターネット利用実態調査（沖縄県警察）



警察の相談窓口

- ・ 警察本部警察安全相談窓口
TEL 098-863-9110(又は、プッシュ回線等から#9110)
- ・ 各警察署の警察安全相談窓口